

令和2年度まちづくり提案制度（松山市市民活動推進補助金 次世代育成支援事業）採択団体

松山市では、市民が自主的、自発的に市民活動に参加できる環境づくりに取り組んでいます。
令和2年度は、以下5団体が採択されました。

◆令和2年度採択団体

団体名	補助事業の内容等	区分
Take Action Project	<p>Take Action Project</p> <p>①街作りのゲームで、自分たちの理想の街と現実との違いを知り、自分の理想にどう近づけるかを考える。②紙飛行機大会を通して、子ども達に情報の正しい読み方や活かし方を学ぶ。③手話や、聴覚障害の方の経験や体験を知ってもらうことで、地域の人たちみんなが過ごしやすい街づくりをするともに、保護者も協力し、地域全体で地域を盛り上げる。④小中高生と一緒に古着のリメイクをして、環境について課題意識をもち、自分のできることを考えてもらう。</p>	高校生
松山北高校 サイクリング同好会	<p>松山サイクリングコース「新」魅力発信 ～高校生目線で発見したのは!?～</p> <p>愛媛県が掲げる重要施策「自転車新文化」。2018年度より様々なサイクリング施策が企画・実行されており、松山市においても『今治・道後はまかせ街道』や『忽那愛ランド海の道コース』などのサイクリングコースが設定されている。ホームページだけでなくマスコミやSNSなどにおいても多数取り上げられており、その道中の魅力などが発信されているが、高校生にはその認知度は低いのが実情となっている。</p> <p>この活動を通して、上述の2コースを自転車で走り、高校生目線でその魅力をまとめ情報発信し、若い世代にもその魅力を知ってもらい、この施策のさらなる発展に寄与したい。また、地域の人々との触れ合い、文化との触れ合うことを通して、松山のさらなる魅力を感じ取っていく。</p>	高校生
松商地域ビジネス科 3期生 2020	<p>保育園等におけるソーシャルディスタンスを保った園児向け防災教室とレクリエーションの提案</p> <p>1 園児の防災意識を高める。</p> <p>いつ起こるか分からない災害に、日頃から備えることは大切で、防災意識を持ち続けることは、有事の際に命を守る行動につながると思う。</p> <p>2 閉塞感漂うコロナ禍の「まち」を少しでも元気にする。</p> <p>コロナ禍の中で、多くの制限を受け、ストレスがたまっていると思われる子どもたちに、ソーシャルディスタンスを保ったレクリエーションを提供することで楽しい気持ちになってもらう。保育園から帰った子どもたちが、この日の出来事を笑顔でお家の人に話すことで、お家の人にも元気になってもらう。お家の人元気になるとそれぞれの職場も明るくなり、そのことは「まち」全体の元気につながると思う。</p> <p>3 高校生が考えたソーシャルディスタンスを保ったレクリエーションを保育園等に提案する。制限された中でもできる遊びを提案し、多くの保育園、幼稚園等で採用していただけると、園児にも先生にも多くの笑顔が生まれると思う。</p>	高校生

<p>松山学生演劇 コミュニティ</p>	<p>松山発！学生の演劇ワークショップ 私たちは、松山の学生演劇を盛り上げるため普段から活動しております。今回は、松山の学生の演劇の技術の向上と学生の交流を目的にワークショップを実施したいと考えている。学生の交流や技術の向上は松山の演劇を盛り上げることになり、より良い娯楽を松山の人たちへ届けることができると考える。</p>	<p>大学生</p>
<p>カタリナ子育て 応援隊</p>	<p>カタリナ子育て応援隊参上！ 親子で一緒に楽しく過ごすアイデアを紹介いたします。 新型コロナウイルスにより、家庭で一緒に過ごす事が多くなった親子の時間。工夫している親子もいましたが、うまく時間を使えなかった親子もいたとニュースなどで聞きました。 そこで、保育学科等での学びを生かして親子が家で楽しく過ごせるアイデアを掲載した冊子を作り配布したいと考えました。子育て支援センターや児童館などに、親子で楽しめるミニイベントとセットで配布したいと思います。(コロナが落ち着いていて開催できれば) 冊子には、子育てで悩む保護者が元気になれる内容と共に、子育ての相談窓口等の連絡先も記載したいと考えます。この活動を行うことで、コロナのような非常時だけでなく、松山の子育て世代の親子に笑顔と元気を与えることができると考える。</p>	<p>大学生</p>